

# 財政健全化の本年度目標は

## プライマリーバランスの黒字化



阿部 一男 議員  
(平和環境社民クラブ)

**Q** 本市の新年度予算は市税の減少など自主財源の減少により厳しい運営が予想される。予算編成

で、財政健全化に向け、どのような目標を掲げるか。また、歳出見直しについて具体的対応を伺う。

**A(市長)** プライマリーバランスの黒字化は市債残高が減少し、実質公債比率が低下して財政の健全化に向かう。歳出見直しについては、5%カット

下の要求枠を設け、事業の再構築と職員の意識改革を進めている。

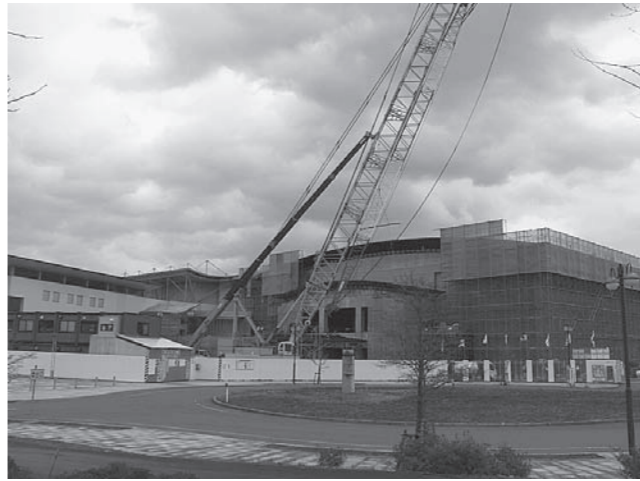
### 市債残高縮減計画は

**Q** 総合計画見直しで財政計画も見直す必要がある。歳入歳出の動向、特に地方交付税の動向をどう見るか。また、地方債残高

は平成22年度末で600億円だが、平成27年度末で526億円に縮減の目標達成見通しを伺う。  
**A(政策推進部長)** 国の財政運営戦略は、一般財源総額が平成22年度並みに確保されるという内容である。また、市債残高についても、年々縮減の方向にあり、平成27年度末には530億円程度と見込んでいる。



財政健全化に向けた検討が必要(花巻市役所本庁舎)



総合体育館南側で進む増築工事

## スポーツによる活性化について

### 体育関係団体と連携し大会誘致



鎌田 辛也 議員  
(花巻クラブ)

**Q** 大規模なスポーツ大会を誘致し地域の活性化につなげることを目指し「はなまきスポーツコン

ベンションビューロー」が設立されたが、具体的な活動計画や誘致しようと考えている大会について伺う。また、市としてのかかわりについても伺う。平成28年開催の「国民体育大会」に向けて、改修などが必要な体育施設もあると思われるが、その改

修計画について、メイン会場や練習会場も含めて伺う。  
**A(市長)** スポーツコンベンションビューローは既存のスポーツ大会開催状況調査、大規模スポーツ大会予定の情報収集、会場提供や観光業との連携システム構築、

ホームページによる情報発信を行う。誘致大会として、平成28年開催の岩手国体は8競技が本市会場となっており、会場となるメリットを生かし誘致活動を行う。また、事務局を市体育協会内に設置し、情報共有や構成団体との連携を図る。事務局運営経費は市体育協会への委託で市が支払う。国体会場整備は中央競技団体の視察時の指導で、練習会場も含め計画的に整備を進めていく。

## 第5次改定での介護保険料は月額5200円程度と試算



小原 茂明 議員  
(花巻クラブ)

**Q** 平成12年度に介護を社会全体で支えようと始めた介護保険制度は、3年ごとの保険料見直し

により、平成24年度から第5次改定となるが、今後の作業日程と保険料がどの程度に試算されるのか伺う。

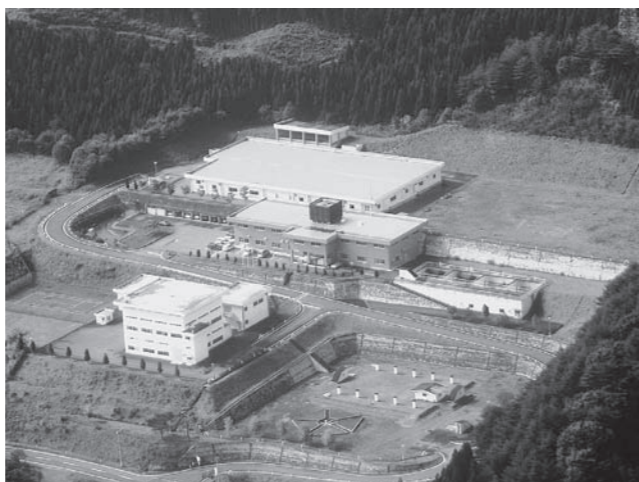
**A(市長)** 国の試算で計算すると現在の月額4209円が5200円程度となる。5千円を超える負担は厳しいとの国の専

門部会からの意見もあり、今後も国の動向を注視していく。策定の日程は、本年末から市民との意見交換会などを実施していきたい。

### 水道広域化について

**Q** 花巻市、北上市、紫波町の2市1町を構成団体

とする岩手中部広域水道企業団で、現在進められている水道広域化推進のための基本構想について、現時点での進捗状況と内容および今後の予定について伺う。  
**A(上下水道部長)** 平成22年度内に「基本構想」を策定し、23年度には「推進協議会」を設置、24年度は「統合準備室」、さらに25年度の「統合協定書」の締結を経て、26年度の統合を予定している。



水道広域化に向け話し合いが進む岩手中部広域水道企業団



新たな観光需要の開発を話し合う賢治のまちづくり委員会

## 観光立市構想について

### 自然・歴史・文化を生かす



増子 義久 議員

**Q** 殺伐とした現今の世の中にあって、これからの観光は単なる物見遊山から失われた価値観を求

めるものに変わっていくと思う。平泉(浄土の思想)―遠野(遠野物語)―花巻(宮沢賢治、高村光太郎、新渡戸稲造、早池峰神楽など)を結ぶ広域的な「理念型」観光を考えるべきではないか。また、花巻出身の山折哲雄氏を賢治のまちづくり委員会に

の顧問格に迎え入れ、「理念型」観光の指針を仰ぐ考えはないか。  
**A(まちづくり部長、商工観光部長)** 平泉、遠野、花巻は、地域の特色ある観光資源の組み合わせによる広域観光を推進するため、それぞれの観光協会が連携する花巻・遠野・

平泉観光推進協議会を設立している。3市町の自然と貴重な歴史的・文化的遺産の組み合わせによる新たな観光需要の開発に取り組んでいきたい。また、賢治のまちづくり委員会の山折先生との講演やご提言、ご指導をいただいている。この意向もあつたことから、これらを踏まえ、これから具体化に向け検討していきたいと考えている。